

会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	令和元年度第1回 高松市行財政改革推進委員会
開催日時	令和元年6月26日(水) 9時30分～11時15分
開催場所	高松市役所 11階 113会議室
議 題	(1) 委員長の互選等について (2) 次期行財政改革計画策定方針について (3) 令和元年度高松市外部評価について
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記の理由	
出席委員	石川委員、肥塚委員、近藤委員、関委員、竹内委員、角田委員、奈良委員、西村委員、人見委員
傍 聴 者	0 人 (定員 5 人)
担当課及び連絡先	人事課行政改革推進室 839-2160

審議経過及び審議結果

会議公開の確認、山下総務局次長挨拶の後、次の議題について協議した。

(1) 委員長の互選等について

要綱第4条第2項に基づき、委員長の互選

(結果) 委員長 肥塚委員

要綱第4条第3項に基づく副委員長の指名

(結果) 副委員長 竹内委員

(2) 次期行財政改革計画策定方針について

<主な質疑等>

(委員)

第7次行財政改革計画の考え方や推進方策を基本的に継承することだが、「成果を重視した行政運営の推進」という取組方針においては、各事業の成果を計る指標を丁寧に考えなければならない。本当にその指標が事業の成果を表すのかを考えていただきたい。

(事務局)

効果額が出るものは、効果額を出す必要があり、効果額が出ない場合も、毎年、成果を確認できるものにしていきたい。

(委員)

次期計画の取組方針に「持続可能な財政基盤の確立」があり、自主財源の確保、財源の重点的・効率的配分の他、歳出削減への取り組みが挙げられているが、歳出削減については市民の目線に立たなければ、市民のニーズに答えられなくなる可能性もあるため、市民の声を聞き、市民へ情報提供をして、相互に理解しながら進めていただきたい。

(3) 令和元年度高松市外部評価について

<主な質疑等>

(委員)

市民満足度や事業の効果を高めていくための見直しを検討する事業が評価対象事業に選定されることとなっているが、満足度や効果が低いものが選定されるのか。重要度はどのように関わるのか。

(事務局)

各局で、より良くしたいと考える事業を候補として出してくるが、その中から4事業を選定する時に、市民満足度調査の満足度・重要度を参考にする。

(委員)

事務局から、評価対象の4事業について説明する時に、候補となった事業を示していただき、選定の経緯を教えてほしい。

(事務局)

対象事業の説明の際に、選定の経緯についても説明する。

(委員)

選定された4事業の説明については、それぞれの事業の課題を明確にしていきたい。

(委員)

事業を評価するに当たっては、その事業に関係する総合計画、個別計画についても見ておかなければ、評価しづらいのではないか。

(事務局)

評価対象の4事業について、概要等の説明をした後、各事業に関する質問、必要な資料等をお聞きし、外部評価当日に、事業の所管課から資料配布、説明などを行うこととした。